

## 令和4年度「知事と市町長の円卓対話」（伊勢市）概要

- 1 対話市町 伊勢市（伊勢市長 <sup>すずき</sup> 鈴木 <sup>けんいち</sup> 健一）
- 2 対話日時 令和4年7月21日（木）9：15～10：00
- 3 対話場所 賓日館（伊勢市二見町茶屋566-2）
- 4 視察場所 賓日館
- 5 対話項目 式年遷宮に向けた取組について
  - （1）観光誘客施策について
  - （2）観光客の受入基盤整備について
  - （3）地域資源（文化コンテンツ）の活用について

### 6 対話概要

#### 対話項目（1）観光誘客施策について

（市長）

観光にお越しいただいた方へのアンケートでいつも課題となるのが二次交通です。また、遷宮にあたっての情報発信も課題です。前回の遷宮では多くの方々にお越しいただきましたが、三重県各地の魅力や文化・歴史等が必要とされるところへ届いていなかったと感じています。現在は趣味趣向が人それぞれ違うので、マスで捉える観光のキャンペーンだけではなく、ターゲットを絞り込んだキャンペーンを張っていくことが必要だと考えております。

次の遷宮に向けて、今の三重県にある文化・歴史を楽しんでいただく「せんぐう旅博」というものをご提案させていただきます。まち歩き博覧会のような形で、自分の趣味趣向に合った場所を歩いていただいたり、様々な交通のあり方を楽しんでいただくようなものが開催できないかと思っています。体験型のまち歩き博覧会は、二次交通が課題である地域やDXと相性がよいので、ITを使って地域の観光を楽しんでいただけるような取組を進めていきたいと考えています。

日頃から伊勢志摩地域一体となって観光の取組を進めていますが、前回の遷宮においては県外の宿泊が多かったので、これを三重県内の観光の活性化、起爆剤にしたいと思っています。伊勢市、伊勢志摩地域だけでなくこれを三重県全体に波及させていこうとなると、県の力がなくては成し遂げることができません。また、関係団体と一緒にするためには知事の旗振りが必要だと感じています。「せんぐう旅博」を成功させるためにも、ぜひ県のお力添えをいただきたいと思います。

(知事)

三重県が今後取り組んでいく課題として、人口減少と防災対策があります。観光は、この二つと関連した課題でもありますので、しっかり取り組んでいきたいと思っています。

三重県には、観光に関する課題がたくさんあります。一つ目は、大阪や名古屋に泊まって三重へ観光に来る方が多いことです。三重では一泊もしくは日帰りという方が多いため、じっくり滞在できるような宿泊施設やコンテンツを作っていかなければなりません。また、各観光資源をつなぐことが課題だと思いますので、観光地を巡るモデルルートの提案を、市と協力して行っていかなくてはならないと思います。

二つ目は、情報発信です。三重県には魅力ある場所がたくさんありますが、その情報発信をうまくできていません。御師の制度の現代版のようなものをしていかなくてはならないと思います。またITを使うのも大事ですが、アナログも意外と大事かもしれないので、予算はかかりますがデジタルサイネージも行っていきます。

三つ目は、文化の発信です。人は異文化に触れるために観光をしますので、文化的なものに力を注いでいかなくてはなりません。また体験型というのも重要ですので、文化と体験型を組み合わせたメニューを作って提示していこうと思います。そのために令和4年3月に「三重県観光誘客推進本部」を作りました。

ご提案いただいた「せんぐう旅博」。「旅博」というよりも遷宮を機会とした県内・地域の観光キャンペーンはしっかりやっていこうと思っています。2025年には大阪・関西万博も開催されますので三重県の発展のチャンスととらえ、多くの方々に関西圏から来ていただきたいです。令和4年3月に「大阪・関西万博関連事業推進本部」を作り、近畿日本鉄道と協力していかにして客を伊勢まで持ってくるかなどを議論しています。令和7年に山口祭が始まりますので、これをよい機会としてしっかりとしたキャンペーンの形を作っていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

## 対話項目(2) 観光客の受入基盤整備について

(市長)

伊勢市内の道路で大きな課題があるのが、県道の伊勢磯部線、通称御木本道路です。最近では、通学路にも指定されておりますが、交通事故が非常に多く危険な場所となっています。歩道が非常に狭い場所や歩道がない場所があり、整備が中途半端に終わってしまっています。道路事業という形でもう一度見直していただき、地域住民にとっても観光客の方にとっても安全安心に使っていただけるよう、整備をお願いしたいと思っています。今後さらにE-bikeやレンタサイクルを充実さ

せ、またウォーカブルな観光都市のことも視野に入れていきたいと思っております。そのためには、きちんとした歩道や道路の整備が必要不可欠ですので、ぜひお力添えをお願いします。

(知事)

令和4年1月にバスで御木本道路を通らせていただきましたが、たしかに歩道が傾いていて危険だと感じました。御木本道路は、観光にも高齢者の移動にも重要だと思います。都市計画幅で整備しているところもありますが、周りに住宅が多いため用地の取得が難しいと聞いております。この用地の取得については県道ですので県で行っていますが、市にもご協力いただく必要があると思います。用地取得には時間がかかりますので、短期的な対策として、危険な場所にはガードパイプを設置しています。また歩道が狭い場所は、早めに用地確保を行いながら幅員を広げ、路面の表示も取り急ぎさせていただきます。令和15年の遷宮までには、都市計画幅の道路を作っていくことが大事だと思いますが、用地取得の相手方がいるため必ずすると言えないことが残念です。しかし、用地取得に向けて伊勢市と協力していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

### 対話項目(3) 地域資源(文化コンテンツ)の活用について

(市長)

二見浦は、名勝や古式の製塩、興玉神社など、文化が充実している地域です。賓日館は耐震診断の結果、耐震が不足し、また液状化の恐れもあるため、耐震改修が絶対に必要な状況です。この耐震化については、国の補助事業を予定しておりますが、文化施設を改修していくには莫大な予算が必要となりますので、ぜひ県のご支援もお願いしたいと思っております。

施設の改修とともに、二見地域の交通サインや施設サインの充実もしていかなければならないと思っております。二見だけでなく、できれば伊勢志摩地域で統一したサイン計画ができないかと日頃から思っておりますので、協議させていただけるとありがたいと思っております。

現在、伊勢うどんを国の無形民俗文化財の登録を目指して文化庁と協議をしているところですので、ぜひ今後の観光振興の一つとして、伊勢うどんの情報発信にご協力いただけるとありがたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

(知事)

現在、二見は残念ながら訪れる方が減少しており、これをどう盛り返していくかを地元の方々と市と一緒に考えておられると伺っています。県としても最大

限ご協力させていただきたいと思います。

観光は、宿泊場所と食、観光資源が大事です。食に関しては、三重県には食材が溢れていますが、それをどう食の域に深めていくかが課題だと思っています。観光資源については、文化が重要ですので、老朽化しているところも改修していくために文化庁の予算も伊勢市と一緒に要求させていただきたいと思っています。

また観光される方にわかりやすい表記は重要です。観光客だけでなく、外国の方や障がいを持っている方に対しても重要です。観光用ピクトグラムが全国一律でできればよいと思うので、観光庁にも話をしながら考えていきたいと思っています。

伊勢うどんについて、地元で根付いた食を全国に展開し、おいしいと思ってもらって伊勢に来てもらうということは大事なことだと思います。伊勢という言葉の持つ魅力・発信力は大きいと思います。登録できるかどうかはこれからの話になってくると思いますので、一緒に協力させていただきたいと思っています。伊勢の魅力を三重県も一緒になって発信させていただきたいので、三重県全体が観光で振興できるよう頑張っていきたいと思っています。